

- [Auto Injectuwad Injectorを用いた差し替え](#)
- [VC\(バーチャルコンソール\)のROM差し替え](#)
- [Injectuwadを用いた差し替え](#)

[Auto Injectuwad Injectorを用いた差し替え](#)

必要なもの

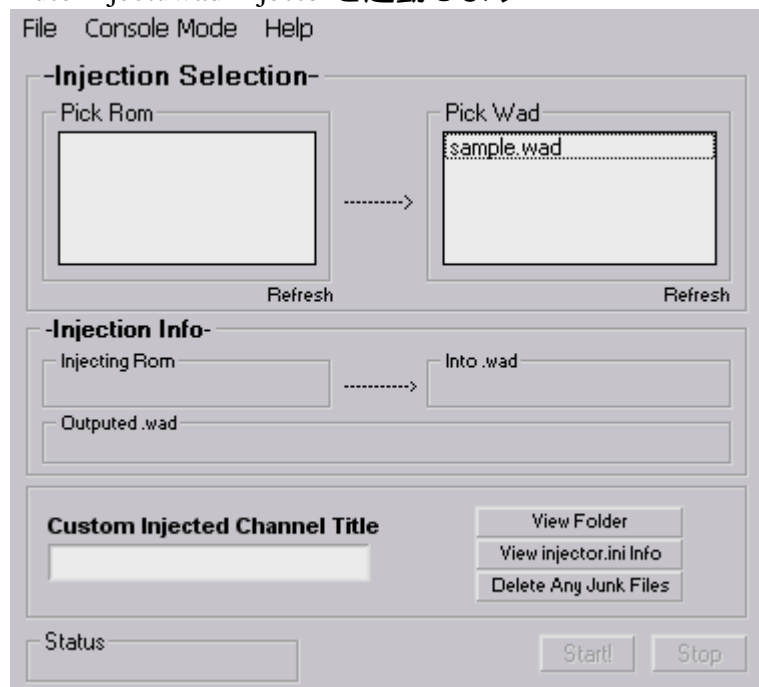
- Homebrewが起動可能な環境(*.elfが起動できる環境)
- FileSystem Dumper
- Auto Injectuwad Injector
- common-key
- 差し替えるファイル(ROMや*.dol等)

1.

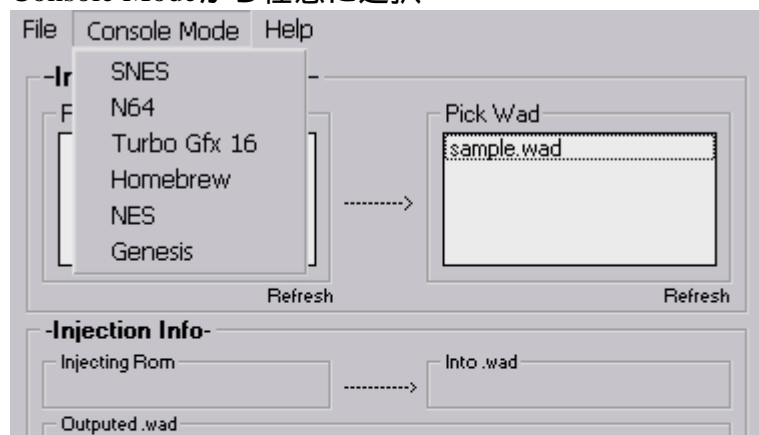
Auto Injectuwad Injectorと同じディレクトリにWADファイルと差し替えたいROMやdolファイルそしてcommon-key.binを用意します

2.

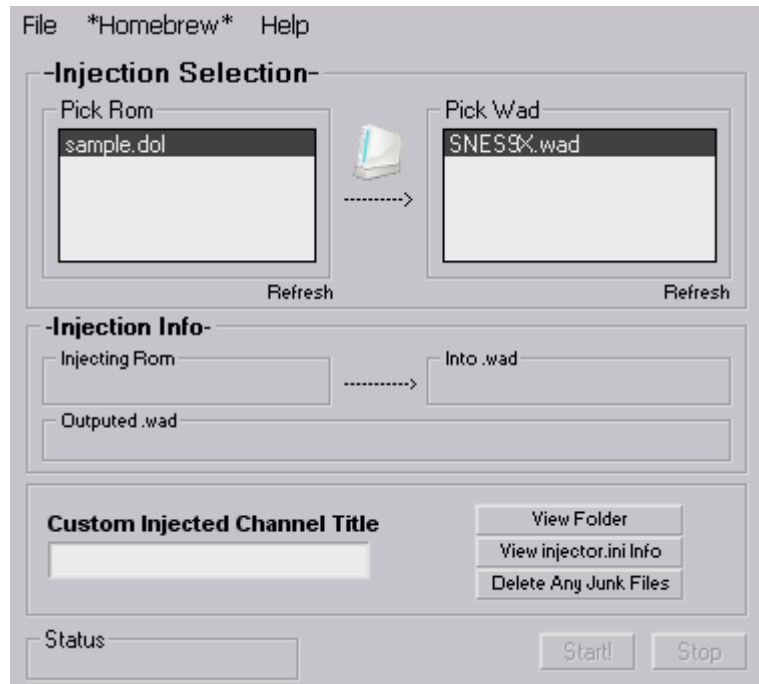
Auto Injectuwad Injectorを起動します



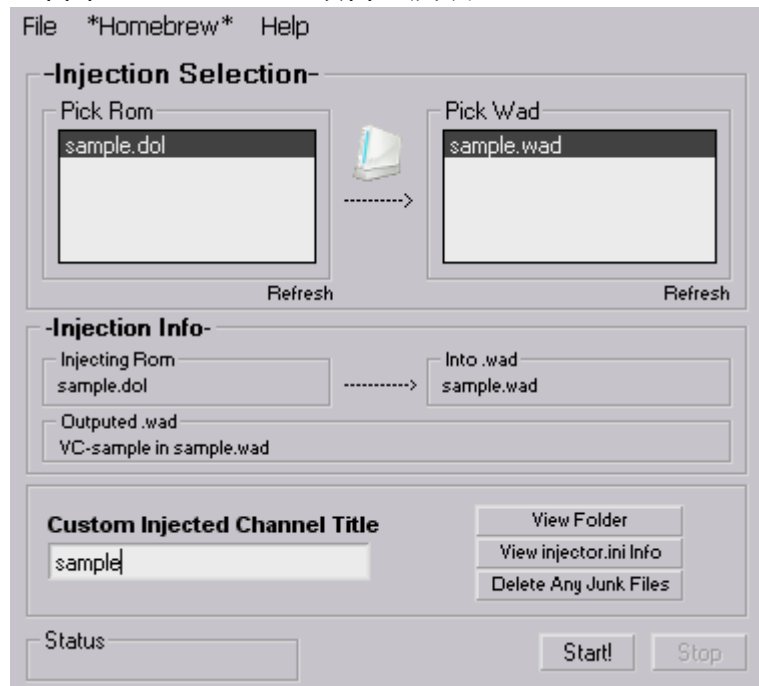
Console Modeから任意に選択



PickRomとPikuWadからそれぞれファイルをクリックして選択



Custom Injected Channel Titleに任意の文字を入力
日本のWiiではこの項目は反映されません



最後にStartを押すと完了です
以下のファイルが作成されます

```
000000**.app  
HB-*.*.wad  
InjectorLog.txt  
sha1out.txt  
title.cert  
title.tik  
title.tmd
```

3.

実行時エラー '5':
プログラムの呼び出し、または引数が不正です。
このようなエラーが出る事があります
その場合は

*_inject.bat
が作成されていると思うので実行してください

VC(バーチャルコンソール)のROM差し替え

必要なもの

- Homebrewが起動可能な環境(*.elfが起動できる環境)
- FileSystem Dumper
- Virtual Console Extractor
- WAD Installer
- ショッピングチャンネルで購入したVC
- 差し替えるROMファイル
- バイナリエディタ
- SHA-1ハッシュ値を計算できるツール

1.ファイルの準備

まずWADパッキングするためのファイル群

*****.APP

TITLE.TMD

TITLE.TIK

TITLE.CERT

を準備します

00000005.APPのSHA-1ハッシュ値を調べTITLE.TMDをバイナリエディタで開き
アドレス2A8-2BBと同一であることを確認しておきます

2.00000005.APPの展開

Virtual Console Extractorを使い00000005.APPを展開しromを探します

まず00000005.APPをVirtual Console Extractorと同じフォルダにコピーし

Virtual Console Extractorを実行します

00000005.APPと入力しエンターを押すと展開が始まります

romという拡張子のないファイルがあるはずです

それがVCのROMファイルとなります

3.00000005.APPからromの格納されているアドレスを探す

00000005.APPとromをそれぞれバイナリエディタで開き

romの先頭バイナリ何桁かを00000005.APPから検索します

見つかったらアドレスをメモしておきます

4.00000005.APPにROMを上書き

3でメモしたアドレスから差し替えるROMを上書きします

この時差し替えるROMは00000005.APPに格納されていたromよりもサイズが小さくなければいけません

5.TITLE.TMD内のSHA-1ハッシュ値を書き換える

1で確認したTITLE.TMD内の00000005.APPのSHA-1ハッシュ値を書き換えます

TITLE.TMD内のROM差し替え前の00000005.APPのSHA-1ハッシュ値を

ROM差し替え後のSHA-1ハッシュ値に書き換えます

この時必要であればチャンネルIDも書き換えます
チャンネルIDはTITLE.TMDとTITLE.TIK内にある4文字のアルファベットと数字です
それぞれを任意の同じ文字列に書き換えるとチャンネルIDを変更できます

6.WADファイルを作成する

通常通りWADファイルを作成します
途中でエラーが出る場合5の作業でミスをしています
後はこの作成したWADファイルをインストールするだけです

Injectuwadを用いた差し替え

必要なもの

- Homebrewが起動可能な環境(*.elfが起動できる環境)
- FileSystem Dumper
- common-key.bin
- Injectuwad
- VCなどのWADファイル
- 差し替えるファイル(差し替えたいSNES・N64・TG16のROM、homebrewのdol)

1.

保管庫などからDLしたInjectuwadを解凍し、
出てきたフォルダをC:\などに移動。
Injectuwadとおなじディレクトリに、WADファイル、差し替えるファイル、common-key.binを入れる。
このとき、ディレクトリやWADファイルの名前は、簡単にしておくといいです。

2.

コマンドプロンプトを起動して、Injectuwadのディレクトリに移動（例：cd c:\injectuwadv2.3\）
次のように入力します。

```
injectuwad [差し替えるファイル名] [WADファイル名] [モード指定] n
```

モード指定には、

- 1 SNES（スーパーファミ）
- 2 N64
- 3 TG16
- 4 Homebrew(dol)

のいずれかの数字を入力してください。
（例：injectuwad zelda.z64 mario.wad 2 n）

3.

wadtoolが起動されるので、
“Decrypt”を選んで、WADファイルを選択します。
この作業には少し時間がかかり、ソフトがフリーズするのようになりますが、
作業は続いているので、待っていてください。（あまりにも遅いのならフリーズしてるかもしれませんが・・・）

作業が終われば、wadtoolに情報が表示されます。
このとき、Injectuwadのディレクトリに、
複数のInjectuwadv2.00*.desというファイルがなければ、C:\などに出ていたりするので、
Injectuwadのディレクトリに移動させてください。

Injectuwadのディレクトリにdesファイルがある状態になったら、wadtoolを閉じてください。
コマンドプロンプトに戻って、作業が進行されます。

4.

文字がたくさん出てきた後、bannertoolが起動されます。
バナーが必要な場合は設定してください。(必要な場合はそのまま閉じてよいです。)
チャンネル名はここで設定できるのですが、日本のWiiには対応していないようです。

設定が終わったら、bannertool閉じてください。
コマンドプロンプトに戻って、作業が進行されます。

5.

“ All done! ” と表示されれば完成です。
「VC-*****.wad」などのファイルができていると思うので、これをWiiにインストールすればよいです。